

# Express5800 シリーズ

## N8103-73 ディスクアレイコントローラ (IDE)

### ご使用時の注意



本製品に添付のユーザズガイドとあわせてお読みください

**本ディスクアレイコントローラをご使用になる前に以下の内容をご確認ください。**

### 1. インストール作業時の注意事項

N8103-73 ディスクアレイコントローラ (IDE) が接続された本体装置にインストール作業を実施する場合、**必ずロジカルドライブ(パック)の Write Policy (Write Cache) 設定を『Write Through』に設定してインストールを実施して下さい。**

『Write Back』にて装置運用される場合も、インストール作業は『Write Through』設定にて行い、インストール作業終了後に Write Policy (Write Cache) 設定を『Write Back』に変更して装置を運用願います。

#### **注意**

**『Write Back』にてインストール作業を実施すると、正常にインストールされません。**  
万が一誤って『Write Back』設定にてインストール作業を実行してしまった場合は、『1-3. 復旧方法』を参照し、最初からインストール作業をやり直してください。

#### 1-1. 『Write Through』の設定方法

ロジカルドライブの Write Policy (Write Cache) を『Write Through』に設定する方法です。

- (1) 『N8103-73 ディスクアレイコントローラ(IDE) ユーザズガイド』の「4章 Configuration Utility」に従い、ロジカルドライブ(パック)を作成します。この時、「Advanced Menu」の「Write Policy」設定は変更しないでください。(Default 値：『Write Through』)
- (2) ロジカルドライブの作成が完了したら、Management Menu 「Objects」 「Logical Drive」の「View/UpdateParameters」を選択し『Write Policy』の設定が『WRTHRU』(Write Through) に設定されていることを確認してください。『WRBACK』(Write Back) に設定されている場合は『WRTHRU』に設定を修正してください。

## 1-2. 『Write Back』にて本体装置を運用する場合

インストール作業終了後、Cache Policy(Write Cache)を『Write Through』から『Write Back』に変更する手順です。そのまま『Write Through』設定にて本体装置を運用される場合は、設定変更の必要はありません。

### 注意

N8103-73 ディスクアレイコントローラ( DE)はバッテリーを内蔵していないため、電源瞬断などの不慮の事故が発生した際にキャッシュの内容がハードディスクに反映されない場合があります。データを損失する危険性があります。『Write Through』での運用を推奨します。

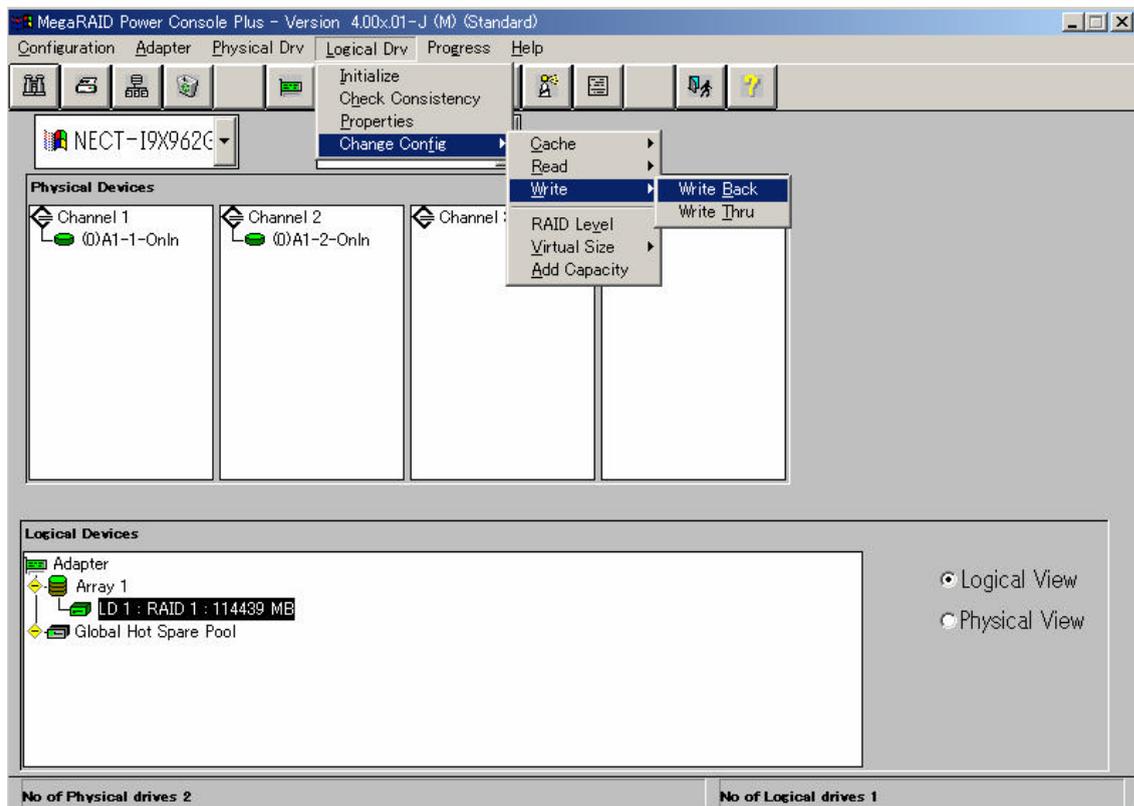
### 1-2-1. 『MegaRAID Configuration Utility』を使用

- (1) 本体装置を起動し『MegaRAID Configuration Utility』を起動します。
- (2) Management Menu の Objects で Logical Drive View/Update Parameters を選択します。
- (3) 『Write Policy』『WRTHRU』にカーソルを合わせ<Enter>を押します。
- (4) 『WRBACK』を選択し<Enter>を押下後、<YES>を選択します。
- (5) 『Write Policy』が『WRBACK』に変更されていれば作業終了です。

### 1-2-2. 『Power Console Plus』を使用

補足]本手順は、Power Console Plus がインストールされた本体装置にのみ有効です。

- (1) 本体装置の電源を投入し、OS を起動します。
- (2) 次に『Power Console Plus』を起動させます。
- (3) ロジカルドライブ(バック)を選択します。
- (4) メニューバー Logical Drv Change Config write で『Write Back』を選択します。



### 1 - 3 . 復旧方法

「Write Back」設定にてインストールを実行しセットアップ処理が途中でストップしてしまった場合、再起動を行って EXPRESSBUILDER の起動画面(トップメニュー)が立ち上がるかどうか確認してください。  
もし、起動画面が立ち上がらない場合は「CMOS クリア」を本体装置添付のユーザーズガイドに従って実行してください。

EXPRESSBUILDER の起動画面が立ち上がりましたら装置を再起動し、「MegaRAID Configuration Utility」を立ち上げ、Management Menu「Configure」の「Clear Configuration」でロジカルドライブの Configuration をクリアしてください。Configuration がクリアされましたら、最初からインストール作業をやり直して下さい。

## 2 . Consistency Check の実行について

ディスクアレイシステムでは、ディスク装置において磁気低下や振動による損傷が発生した場合など、気付かないうちに RAID に不整合が生じ、運用中や故障したディスクの交換時にエラーが発生することがあります。

本ディスクアレイコントローラでは、「Consistency Check」を行うことにより、これらのエラーを未然に防止することができます。システム構築時 運用開始後、アレイ管理ユーティリティ「Power Console Plus」にて定期的に「Consistency Check」を実行するようにスケジュールを設定してください。

また、新規にディスクアレイシステムをコンフィグレーションした場合も、「MegaRAID Configuration Utility」にて「Consistency Check」を実行するようにしてください。

「Power Console Plus」や「Mega RAID Configuration Utility」の使い方は、ユーザーズガイド等を参照してください。

## 3 . Power Console Plus をご使用時の注意

アレイ管理ユーティリティ Power Console Plus をご使用になる際、以下に記載されて注意事項を必ず確認してください。

### Power Console Plus の Port 番号について

Power Console Plus を使用する際に、Port 番号競合の問題が発生する事があります (詳細は<現象説明>をご覧ください)。

N8103-73A ディスクアレイコントローラを搭載したサーバ及び Power Console Plus の [管理サーバ] コンポーネントをインストールする装置には添付の Update モジュールを下記手順にて適用してください。

#### **[Update 手順]**

以下の媒体があることを確認してください。

フロッピーディスク 1枚 名称 : Power Console Plus レジストリ Update  
ID : 136-174776-075-A

1. Power Console Plus レジストリ Update フロッピーディスクを該当装置のフロッピードライブにセットします。
2. フロッピーディスク内にある、Update.bat を実行します。
3. レジストリ情報を Update しても良いかを確認するダイアログが表示されますので「はい」を選択します。

4. レジストリ情報のUpdateが終了しました。「OK」をクリックしてください。
5. システムを再起動してください。

ポート番号(1047/1048)をPower Console Plus にて使用するため、他のアプリケーションでは使用できません。

#### <現象説明>

本 Update を実施しない場合、以下の問題が発生する可能性があります。

#### [問題内容]

Power Console Plus は固定でポート番号(1047、1048)を使用している為、他のソフトウェア等にて同一のポート番号を取得した場合に以下のようなエラーメッセージがイベントログ上に登録される、もしくはメッセージボックスに表示され、Power Console Plus が動作できない可能性があります。

- メッセージボックスに表示される場合 -

「listen(sock) failed 10038 is the error 」 「bind(sock) failed 10048 is the error 」



メッセージボックスに表示される"10038","10048"等の番号は Power Console Plusの内部エラーコードを示すものであり、ポート番号を示すものではありませんのでご注意ください。

- イベントログに表示される場合 - アプリケーションログに表示されます。

ソース REG\_SERVER  
イベントID :150  
説明 Registration Server Alert  
Message: 10038 is the Listen error

ソース REG\_SERVER  
イベントID :150  
説明 Registration Server Alert  
Message: 10048 is the Binding error

このような現象が発生した場合、Updateが適用されていない可能性があります。  
Updateを実施してください。

以上